道立江差高等看護学院

学院生活に関する学生アンケート結果（令和７年７月）

■ **実施時期**　令和７年７月２２日～２５日
■ **対象期間**　令和７年２月～令和７年７月
■ **対　　象**　全学生
■ **回答方法**　電子申請フォームにより各自スマートフォンで回答（無記名）

１　回答率（目標：１００％）

月	７月
回答数	１５人（１００％）

２　学院生活の満足度（目標：楽しい・まあまあ楽しいが増加）

月	７月
【1】学院生活が充実しているか （楽しい、まあまあ楽しい）	１３人 （８６．７％）

３　自己肯定感（目標：ポジティブな回答が増加）

月	７月
【2】自分自身に満足しているか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	１２人 （８０．０％）
【3】自分が役に立っていると感じるか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	１２人 （８０．０％）
【4】今の自分が好きか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	１２人 （８０．０％）

４　教職員の対応で不快に感じたこと（目標：「なかった」が１００％）

月	７月
【5】教職員の対応で不快に感じたことがあったか	なかった　１４人（９３．３％）
	あった　　１人（　６．７％）

５　ハラスメント相談員の周知（目標：「知っている」が１００％）

月	７月
【6】ハラスメント相談員を知っている	１５人（１００％）

６　対応状況

教職員の対応で不快に感じたことが「あった」場合の具体的な内容

回答	対応
［時期等］７月中旬、授業中 ［内　容］演習でモデル人形ではなく男女で近距離でやらなくてはならなかったこと。 ［相　談］していない。	看護技術習得場面での気持ちはわかりました。性別関係なく看護技術が実施できることが目標ですが、学習段階では可能な対応を行っていきたいと思います。また、不安なときは担当の教員に相談してください。

回答	対応
［理由等］言いにくい。当たり前だと言われそうだった。人と接するのは大事だが、演習時は同性とやった方が気を使わず集中できるし技術が向上すると思いました。	